

シラバス

科目名	Word II	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	大島 加代子
対象学年	2年前期	実務/一般	実務教員
形式	演習		
学修内容	ビジネス業務では必須である「Microsoft Office Word」の機能を理解してその操作を学習し、実際の業務を念頭にその機能を利用できるスキルを養います。		
到達目標	基本的なビジネス文書の作成から表現力豊かな文書の編集まで、ビジネスのみならず、プライベートなどでも活用できることを目標とします。		
授業の方法	ビジネス文書や電子メールの基本を学び、表や図形などを取り入れた実践的なビジネス文書を作成。模擬試験ではルールに則ったビジネス文書を迅速に作成できるようにする。知識問題では、コンピュータと文書作成の基礎知識を学ぶ。		
評価方法	出席（15％）、授業態度(15%)、提出物（20%）、期末試験（50%）によって評価を行います。検定試験を受験し、合格した者については加点をします。		
授業時間外に必要な学修	特になし。		
使用教材教具	FOM出版「日商PC検定試験 文書作成3級 公式テキスト&問題集」「日商PC検定 文書作成・データ活用・プレゼン資料作成3級 知識科目 公式問題集」		
留意点	特になし。		

授業計画	
1	検定試験の概要 試験内容と対策 第1章 ビジネス文書 知識問題1～12
2	第1章 ビジネス文書 知識問題13～24
3	第2章 ビジネス文書のライティング技術 知識問題25～36
4	第2章 ビジネス文書のライティング技術 知識問題37～60
5	第3章 電子メールのライティング技術 知識問題61～72
6	第4章 ビジネス図解の基本 第5章 ビジネス文書の管理 知識問題73～84
7	第5章 ビジネス文書の管理 第6章 基本的なビジネス文書の作成 知識問題85～100
8	第6章 基本的なビジネス文書の作成 知識問題101～111
9	第7章 表のあるビジネス文書の作成 知識問題112～122
10	第8章 図形のあるビジネス文書の作成 知識問題123～134
11	模擬試験1
12	模擬試験2
13	模擬試験3
14	期末対策
15	期末テスト
16	

シラバス

科目名	コースミーティングC	必修/選択	選択
授業時数	30時間	担当教員	田島 亮
対象学年	2年前期	実務/一般	一般教員
形式	演習		
学修内容	LHR的な位置づけの授業科目です。時期に応じて次のこと等を実施します。 <ul style="list-style-type: none"> ・就職活動 ・各種検定試験対策 ・各種コンペ対策 ・学生生活指導 		
到達目標	各種検定の取得や、就職活動を有利に進められるよう様々な知識を身につけます。		
授業の方法	講義・プリントワーク・プレゼンテーションなど。また、進路に関する個人指導も行う。		
評価方法	提出物・プレゼンテーションの内容などにより採点する。		
授業時間外に必要な学修	なし		
使用教材教具	改訂版 就活NAVIノート		
留意点	なし		

授業計画	
1	・2年次のガイダンス・教科説明・スケジュール確認など ・春期休業中の就職活動報告・まとめ
2	・ポートフォリオを使用したプレゼンの練習
3	・個人面談などでの個別対応
4	・個人面談などでの個別対応
5	・個人面談などでの個別対応
6	・個人面談などでの個別対応
7	・個人面談などでの個別対応
8	・個人面談などでの個別対応
9	・個人面談などでの個別対応
10	・個人面談などでの個別対応
11	・個人面談などでの個別対応
12	・ポートフォリオをチェック
13	◎学園祭について
14	◎学園祭について
15	◎学園祭について
16	

シラバス

科目名	デッサンⅢ	必修/選択	必修
授業時数	60時間	担当教員	金原 寿浩
対象学年	2年前期	実務/一般	実務教員
形式	演習		
学修内容	石膏像、器物などの静物を中心としたモチーフを描画することを通じて、あらゆる造形活動の基本となる「ものを見る目（観察力）」を養います。		
到達目標	1年次に学習した描画の基本的要素についてさらに理解を深め、形態や質感を的確に表現する高い描画力を身につけることを目標とします。		
授業の方法	目の前にあるものをしっかりと見て描く。見えないところを見る、考える。		
評価方法	作品の出来映えもさることながら、そこに至るまでに重ねた努力、探究心の度合いなど		
授業時間外に必要な学修	表現者として24時間常に自分の表現のクオリティを上げるために身のまわりの事、世の中の事を結びつけて生活する。		
使用教材教具	何でも利用する		
留意点	デッサンする事（作品を創ること）で培われた、見方、考え方、描写（対処）で卒業後の仕事、対人、自己決定などあらゆる場面で応用して力強く生きてほしい。		

授業計画	
1	植物
2	植物
3	植物
4	植物 講評
5	いろんな角度から 静物 スケッチブック
6	静物 スケッチブック
7	静物
8	クロッキー／自画像クロッキー B3クロッキー帳
9	エスキース B3クロッキー帳
10	自画像 鉛筆
11	自画像
12	自画像
13	自画像 中間講評
14	自画像
15	自画像 講評
16	

シラバス			
科目名	DTP演習 I	必修/選択	必修
授業時数	60時間	担当教員	鈴木 規恵
対象学年	2年前期	実務/一般	実務教員
形式	演習		
学修内容	1年次のDTP知識で習得した内容を踏まえた演習です。デザインの立案から制作工程、プレゼンテーションまでを実習します。主な制作物は、パンフレット、学校案内、などページモノです。		
到達目標	DTP制作のワークフローを理解し、適切な進行管理と、制作が出来るようになること。また、制作物がデザイン性にすぐれていて、実践的なものであり、完成が高いこと。		
授業の方法	実例を元に制作課題を説明・制作。制作時間の最後に学生のプレゼンを含めた講評会を行う。要件に合ったトーン&マナーを設定しそれに沿ったデザインを実現する。		
評価方法	課題の出来を重要視(提出期限・プレゼン内容を含む)。成績については、出席状況15%、授業態度 15%、課題70%で評価。		
授業時間外に必要な学修	日常で目にするデザインされているものを「自分がデザインするとしたら」という視線で観察する癖をつける。		
使用教材教具	MacBook, Adobe CC ほか		
留意点	実践を意識したデータ作り・管理を癖づけさせたい。		
授業計画			
1	○ 課題1_見開き「自己紹介」(1) A4 見開き2P/4c 縦 課題・授業の得意不得意をコラムに。1年次の課題掲載。		
2	○ 課題1_見開き「自己紹介」(2) 情報の優先順位の説明。		
3	○ 課題1_見開き「自己紹介」(3)		
4	○ 課題2_見開き「紙面レイアウト」(1) A4 2P/4c (3周目まではグレースケールで制作予定) 縦 テーマは課題1の様子を見て指定。		
5	○ 課題2_見開き「紙面レイアウト」(2)		
6	○ 課題2_見開き「紙面レイアウト」(3)		
7	○ 課題2_見開き「紙面レイアウト」(4)		
8	○ 課題2_見開き「紙面レイアウト」(5)		
9	○ 課題3_冊子「学校案内」(1) B5 12P/4c 縦 ページ割支給原稿の扱い方の話。		
10	○ 課題3_冊子「学校案内」(2) ラフ		
11	○ 課題3_冊子「学校案内」(3)		
12	○ 課題3_冊子「学校案内」(4) データ制作		
13	○ 課題3_冊子「学校案内」(5)		
14	○ 課題3_冊子「学校案内」(6)		
15	○ 課題3_冊子「学校案内」(7)		
16			

シラバス

科目名	Web演習 I	必修/選択	必修
授業時数	60時間	担当教員	田島 亮
対象学年	2年前期	実務/一般	一般教員
形式	演習		
学修内容	HTML+CSSの基礎から、ユーザビリティやアクセシビリティ、セマンティックなどの概念を学び、Webサイトを構築します。		
到達目標	ユーザビリティ、アクセシビリティを考慮したWebサイトの構築が出来ることが目標になります。		
授業の方法	HTMLの構造を理解させ、実用的なCSSのプロパティを実演・解説し、サンプルファイルを作成してストックしていきます。		
評価方法	課題の評価と普段の授業態度等を総合的に評価します。 成績については、出席状況15%、授業態度 15%、課題70%で評価します。		
授業時間外に必要な学修			
使用教材教具	特になし		
留意点			

授業計画	
1	◎HTML基礎 構造を意識する
2	head body main aside menu section article などの説明
3	◎CSS基礎 実用的なプロパティ サンプルファイルの作成 2カラムレイアウト
4	セレクタの解説、理解
5	margin padding の特性を知る ショートハンドの解説
6	ブロックレベル要素、インライン要素の違い
7	メニューのスタイリング
8	文字のスタイリング
9	FlexboxとCSS Gridを使ったレスポンシブなレイアウト
10	jQueryの使用例
11	課題:オリジナルサイトの構築
12	
13	
14	
15	講評
16	

シラバス

科目名	ビジュアルデザイン・CI演習 I	必修/選択	必須
授業時数	30時間	担当教員	根本 剛
対象学年	2年前期	実務/一般	実務教員
形式	演習		
学修内容	ポスターや広告、CG表現など、ビジュアルを効果的に使用し、訴求力のあるデザインの制作を研究します。1年次の写真撮影の技術、知識、イラストレーションの技術なども踏まえ、主題に対しての社会的な返答を考える。		
到達目標	目的が何であるんかを適切に理解、分析をし、それにふさわしい表現法を選び、魅力的で、訴求力の高い資格伝達デザインを出力することが目的です。		
授業の方法	講義・レポート・プレゼンテーション・制作		
評価方法	レポートの内容・卒業進級制作展での作品発表・プレゼンテーションの内容		
授業時間外に必要な学修	なし		
使用教材教具	なし		
留意点	なし		

授業計画	
1	パーソナルカード
2	パーソナルカード
3	パーソナルカード・プレゼンテーション
4	ロゴマーク・パッケージ
5	ロゴマーク・パッケージ
6	広告とレイスと三つ折りパンフへのリメイク
7	広告とレイスと三つ折りパンフへのリメイク
8	学園祭フライヤー
9	学園祭フライヤー
10	イメージと・レイアウトの練習
11	タイポグラフィ①
12	タイポグラフィ①
13	イメージと・レイアウトの練習
14	タイポグラフィ②
15	タイポグラフィ②
16	

シラバス

科目名	マルチメディア演習Ⅲ	必修/選択	必須
授業時数	30時間	担当教員	根本 剛
対象学年	2年前期	実務/一般	実務
形式	演習		
学修内容	時間の経過を考慮した映像作品の制作をします。映像の考え方、ソフトウェアの習得に努めます。主な使用ソフトウェアはAfterEffects		
到達目標	使用ソフトウェアの理解と、出題に対する映像作品が魅力的であるか。		
授業の方法	Macによる実技指導。		
評価方法	AfterEffectsのソフトウェアの習得。また、ソフトウェアの特性をいかした作品制作をしているか、作品が魅力的か。		
授業時間外に必要な学修	なし		
使用教材教具	なし		
留意点	なし		

授業計画	
1	AfterEffectsについて インターフェイス・基本仕様について
2	タイムラインとキーフレーム
3	タイムラインとキーフレーム
4	色修正のテクニック
5	合成テクニック テキストフィールド
6	小作品制作
7	小作品制作
8	合成テクニック マスクの応用
9	合成テクニック グリーンバック
10	小作品制作
11	小作品制作
12	写真撮影・ライティング・ビジュアル制作
13	写真撮影・ライティング・ビジュアル制作
14	写真撮影・ライティング・ビジュアル制作
15	写真撮影・ライティング・ビジュアル制作
16	

シラバス

科目名	クリエイティブデザインⅢ	必修/選択	必須
授業時数	30時間	担当教員	田島 亮
対象学年	2年前期	実務/一般	一般教員
形式	演習		
学修内容	表現の研究。PCメディア、描画材にとらわれず、発想の練習と、作品制作の実技。		
到達目標	課題の意図を理解し、提案力が備わったか。制作のプロセスを管理することが出来、完成させた作品のプレゼンテーションが適切であるか。		
授業の方法	講義・実技演習・制作物のプレゼンテーション		
評価方法	作品が出題の意図に即しているか、プレゼンテーションの内容。		
授業時間外に必要な学修	なし		
使用教材教具	Mac 画材など その都度異なる		
留意点	なし		

授業計画	
1	◎ポートレート提出・講評 ◎プレゼンテーション技法 修正、作品の追加、課題の追加
2	◎IDカード制作とプレゼンテーション 課題導入・制作
3	◎IDカード制作とプレゼンテーション ・制作・プレゼンテーション
4	◎商品企画 <グループワーク> チーム分け 課題導入
5	◎商品企画 <グループワーク> 制作①
6	◎商品企画 <グループワーク> 制作②
7	◎商品企画 <グループワーク> プレゼンテーション
8	◎CI 計画 <グループワーク> 制作
9	◎タイポグラフィ <グループワーク>
10	◎タイポグラフィ <グループワーク>
11	◎タイポグラフィ <グループワーク>
12	◎タイポグラフィ <グループワーク>
13	◎グラフィックデザインについて 概略・講義・レポート制作
14	◎グラフィックデザイン-ポスターの制作
15	◎グラフィックデザイン-ポスターの制作
16	

シラバス

科目名	デザイン史	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	朝日 泰博
対象学年	2年前期	実務/一般	一般教員
形式	講義		
学修内容	19世紀中頃から20世紀までの近代デザイン史の動向を概観していきます。単なるデザイナーやその作品の理解にとどまらずその時代背景を理解しながらデザインの意味を考えます。また、同時代の美術全般についても検証していきます。		
到達目標	デザイン及び美術の歴史を単なる知識としてではなく、制作者、表現者としての観点で思考しながら理解を深めていくことを目的としています。		
授業の方法	プロジェクションで作品や画像資料を鑑賞しながら、その背景にある歴史や意味について解説していきます。		
評価方法	成績については、出席状況15%、授業態度 15%、試験75%で評価します。		
授業時間外に必要な学修	授業で紹介されたデザイナー、画家たちについて自分なりに研究をし、理解を深める		
使用教材教具	美術出版社「カラー版 世界デザイン史」		
留意点			

授業計画	
1	デザイン史概説 ・デザインとは ・近代デザインの兆し
2	ヨーロッパ 19世紀後半～ ・近代デザインの鼓動 ・ウィリアム・モリスとアーツアンドクラフツ運動
3	アール・ヌーヴォー ・グラスゴー派の波紋 ・アール・ヌーヴォーの世界 ・ポスターの世紀
4	・ユーゲントシュティール ・分離派とウィーン工房 ・モデルニスモ
5	近代美術文 ・印象主義 ・後期印象主義 ・キュビズム
6	・ドイツ工作連盟 ・バウハウス 前編 ・学校創立の経緯と理念
7	・バウハウス 後編 ・デザインの展開 ・学校の終焉
8	・アール・デコ ・デ・スタイル ・ロシア構成主義
9	アメリカのデザイン ・アメリカのインダストリアル・デザイン
10	日本のデザイン Part1 ・明治から戦前の印刷デザイン ・大戦後のデザイン
11	ヨーロッパの現代デザイン ・北欧 ・ドイツ ・イタリア ・ポストモダン ・アメリカの現代デザイン
12	20世紀の美術 ・ダダ/シュルレアリスム ・抽象表現主義 ・ネオ・ダダ/ポップアート
13	日本のデザイン Part2 ・60・70年代のデザイン ・現代のグラフィックデザイン ・イラストレーション
14	前期授業のまとめ 期末試験について
15	◆期末試験
16	

シラバス

科目名	Excel II	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	大島 加代子
対象学年	2年後期	実務/一般	実務教員
形式	演習		
学修内容	ビジネス業務では必須である「Microsoft Office Excel」の機能を理解してその操作を学習し、実際の業務を念頭にその機能を利用できるスキルを養います。		
到達目標	Excelの基本操作に加え、数学や関数の知識を習得し、内容に沿った形で効率的で見栄えの良い表やグラフを作成できるようになってもらいます。		
授業の方法	取引のしくみや業務の流れを学習し、関数やピボットテーブル、データベースなど実践的なデータ活用をする。模擬試験ではより見やすい表とグラフを迅速に作成できるようにする。知識問題では、データ活用の基礎知識をしっかりと学習する。		
評価方法	出席（15%）、授業態度(15%)、提出物（20%）、期末試験（50%）によって評価を行います。検定試験を受験し、合格した者については加点をします。		
授業時間外に必要な学修	特になし。		
使用教材教具	FOM出版「日商PC検定試験 データ活用3級 公式テキスト&問題集」「日商PC検定 文書作成・データ活用・プレゼン資料作成3級 知識科目 公式問題集」		
留意点	特になし。		

授業計画	
1	第1章 取引の仕組みと業務の流れ
2	第2章 業務に応じた計算・集計処理
3	第2章 業務に応じた計算・集計処理
4	第3章 業務データの管理
5	第4章 表の作成
6	第5章 データの集計
7	第5章 データの集計
8	第6章 グラフの作成
9	第1回 模擬試験
10	第2回 模擬試験 知識問題151～161
11	第3回 模擬試験 知識問題162～173
12	過去の模擬試験 知識問題174～200
13	過去の模擬試験 期末テスト対策(知識問題)
14	期末テスト対策(実技問題)
15	期末テスト
16	

シラバス

科目名	コースミーティングD	必修/選択	選択
授業時数	30時間	担当教員	田島 亮
対象学年	2年前期	実務/一般	一般教員
形式	演習		
学修内容	LHR的な位置づけの授業科目です。時期に応じて次のこと等を実施します。 <ul style="list-style-type: none"> ・就職活動 ・各種検定試験対策 ・各種コンペ対策 ・学生生活指導 		
到達目標	各種検定の取得や、就職活動を有利に進められるよう様々な知識を身につけます。		
授業の方法	講義・プリントワーク・プレゼンテーションなど。また、進路に関する個人指導も行う。		
評価方法	提出物・プレゼンテーションの内容などにより採点する。		
授業時間外に必要な学修	なし		
使用教材教具	改訂版 就活NAVIノート		
留意点	なし		

授業計画	
1	・学園祭に向けてのプランニング
2	・学園祭に向けてのプランニング
3	・学園祭に向けてのプランニング
4	・求人情報やガイダンスの情報提供・個人面談 ・プレゼンテーションファイルの整理
5	・求人情報やガイダンスの情報提供・個人面談 ・プレゼンテーションファイルの整理
6	・求人情報やガイダンスの情報提供・個人面談 ・プレゼンテーションファイルの整理
7	・求人情報やガイダンスの情報提供・個人面談 ・プレゼンテーションファイルの整理
8	・求人情報やガイダンスの情報提供・個人面談 ・プレゼンテーションファイルの整理
9	・求人情報やガイダンスの情報提供・個人面談 ・プレゼンテーションファイルの整理
10	・求人情報やガイダンスの情報提供・個人面談 ・プレゼンテーションファイルの整理
11	・求人情報やガイダンスの情報提供・個人面談 ・プレゼンテーションファイルの整理
12	・求人情報やガイダンスの情報提供・個人面談 ・プレゼンテーションファイルの整理
13	・求人情報やガイダンスの情報提供・個人面談 ・プレゼンテーションファイルの整理
14	・求人情報やガイダンスの情報提供・個人面談 ・プレゼンテーションファイルの整理
15	・求人情報やガイダンスの情報提供・個人面談 ・プレゼンテーションファイルの整理
16	

シラバス

科目名	デッサンⅣ	必修/選択	必修
授業時数	60時間	担当教員	金原 寿浩
対象学年	2年後期	実務/一般	実務教員
形式	演習		
学修内容	石膏像、器物などの静物を中心としたモチーフを描画することを通じて、あらゆる造形活動の基本となる「ものを見る目（観察力）」を養います。		
到達目標	1年次に学習した描画の基本的要素についてさらに理解を深め、形態や質感を的確に表現する高い描画力を身につけることを目標とします。		
授業の方法	目の前にあるものをしっかりと見て描く。見えないところを見る、考える。		
評価方法	作品の出来映えもさることながら、そこに至るまでに重ねた努力、探究心の度合いなど		
授業時間外に必要な学修	表現者として24時間常に自分の表現のクオリティを上げるために身のまわりの事、世の中の事を結びつけて生活する。		
使用教材教具	何でも利用する		
留意点	デッサンする事（作品を創ること）で培われた、見方、考え方、描写（対処）で卒業後の仕事、対人、自己決定などあらゆる場面で応用して力強く生きてほしい。		

授業計画	
1	いろいろな角度から 静物 スケッチブック
2	静物 スケッチブック
3	静物
4	いろいろな角度から 静物 スケッチブック
5	静物 スケッチブック
6	静物
7	石膏 木炭
8	石膏 木炭
9	石膏 木炭
10	石膏 木炭 講評
11	静物
12	静物
13	静物
14	静物
15	静物 講評
16	

シラバス			
科目名	DTP演習Ⅱ	必修/選択	必修
授業時数	60時間	担当教員	鈴木 規恵
対象学年	2年後期	実務/一般	実務教員
形式	演習		
学修内容	前期の演習、1年次のDTP知識で習得した内容を踏まえた、演習です。デザインの立案から制作工程、プレゼンテーションまでを実習します。主な制作物は、ロゴタイプ、リーフレット、小型のレイアウトなど、実践的な端物の制作を通して、技術の向上に努めます。		
到達目標	DTP制作のワークフローを理解し、適切な進行管理と、制作が出来るようになること。また、制作物がデザイン性にすぐれていて、実践的なものであり、完成が高いこと。		
授業の方法	実例を元に制作課題を説明・制作。制作時間の最後に学生のプレゼンを含めた講評会を行う。要件に合ったトーン&マナーを設定しそれに沿ったデザインを実現する。		
評価方法	課題の出来を重要視(提出期限・プレゼン内容を含む)。成績については、出席状況15%、授業態度 15%、課題70%で評価。		
授業時間外に必要な学修	日常で目にするデザインされているものを「自分がデザインするとしたら」という視線で観察する癖をつける。		
使用教材教具	MacBook, Adobe CC ほか		
留意点	実践を意識したデータ作り・管理を癖づけさせたい。		
授業計画			
1	○ 課題4_ロゴタイプ(1)		
2	○ 課題4_ロゴタイプ(2)		
3	○ 課題4_ロゴタイプ(3)		
4	○ 課題5_名刺フォーマット(1)情報量にばらつきのある名刺フォーマットの制作		
5	○ 課題5_名刺フォーマット(2)		
6	○ 課題5_名刺フォーマット(3)		
7	○ 課題6_判型変更(1)		
8	○ 課題6_判型変更(2)		
9	○ 課題6_判型変更(3)		
10	○ 課題7_バリエーションの提案(1)		
11	○ 課題7_バリエーションの提案(2)		
12	○ 課題7_バリエーションの提案(3)		
13	○ 課題7_バリエーションの提案(4)		
14	○ 課題7_バリエーションの提案(5)		
15	○ 課題7_バリエーションの提案(6)		
16			

シラバス

科目名	Web演習Ⅱ	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	田島 亮
対象学年	2年後期	実務/一般	一般教員
形式	演習		
学修内容	Adobe Animateによるアニメーションを作成します。		
到達目標	Adobe Animateの基本操作を学び、コンテを元にオリジナルアニメーションの完成を目指します。		
授業の方法	Adobe Animateの各種ツールの使い方を学ぶと同時に、絵コンテを作成し、それを元にアニメーションを作成します。		
評価方法	課題の評価と普段の授業態度等を総合的に評価します。 成績については、出席状況15%、授業態度 15%、課題70%で評価します。		
授業時間外に必要な学修			
使用教材教具	特になし		
留意点			

授業計画	
1	Adobe Animate基礎 各種ツールの使い方 タイムライン周りの解説
2	シンボリックアニメーション
3	音源の同期
4	絵コンテの作成
5	素材の準備 アニメーションの作成
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	↓
15	講評
16	

シラバス

科目名	ビジュアルデザイン・CI演習Ⅱ	必修/選択	必須
授業時数	30時間	担当教員	根本剛
対象学年	2年前期	実務/一般	実務教員
形式	演習		
学修内容	ポスターや広告、CG表現など、ビジュアルを効果的に使用し、訴求力のあるデザインの制作を研究します。1年次の写真撮影の技術、知識、イラストレーションの技術なども踏まえ、主題に対しての社会的な返答を考える。		
到達目標	目的が何であるかを適切に理解、分析をし、それにふさわしい表現法を選び、魅力的で、訴求力の高い資格伝達デザインを出力することが目的です。		
授業の方法	講義・レポート・プレゼンテーション・制作		
評価方法	レポートの内容・卒業進級制作展での作品発表・プレゼンテーションの内容		
授業時間外に必要な学修	なし		
使用教材教具	なし		
留意点	なし		

授業計画	
1	課題1 課題導入 レポート・プランニング
2	課題1 課題導入 レポート・プランニング
3	課題1 課題導入 レポート・プランニング
4	課題2 PromotionDesign 課題導入 レポート制作01
5	課題2 PromotionDesign ロゴについて レポート制作
6	課題2 PromotionDesign コーポレートカラーについて レポート制作
7	課題2 PromotionDesign コンceptワークについて レポート制作
8	課題2 PromotionDesign ペーパーアイテムについて1 レポート制作
9	課題2 PromotionDesign ペーパーアイテムについて2 レポート制作
10	課題2 PromotionDesign 現物の制作とブツ撮り1
11	課題2 PromotionDesign ポスター制作について
12	課題2 PromotionDesign リーフレット制作について
13	課題2 PromotionDesign インタラクティブコンテンツについて
14	課題2 PromotionDesign プレゼンテーションについて1
15	課題2 PromotionDesign プレゼンテーションについて2
16	

シラバス

科目名	マルチメディア演習Ⅳ	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	田島 亮
対象学年	2年後期	実務/一般	一般職員
形式	演習		
学修内容	3DCGソフトの基本操作を習得し、モデリングの手法を学びます。		
到達目標	オリジナルのキャラクターを3Dで制作し、印刷物などへの流用が出来るようになることが目標になります。		
授業の方法	オブジェクトの作成法を解説し、実演をしながら立体物の捉え方を習得していきます。		
評価方法	課題の評価と普段の授業態度等を総合的に評価します。 成績については、出席状況15%、授業態度 15%、課題70%で評価します。		
授業時間外に必要な学修			
使用教材教具	特になし		
留意点			

授業計画	
1	3DCGソフトの紹介 オブジェクトの作成手法
2	モデリング①: 拡大縮小・回転・複製: ソファ、テーブルなど
3	モデリング②: 回転体・曲面化・スムージング: ワイングラス、ドアの取手、ボトルなど
4	モデリング③: ポリゴン・掃引・押出・ベベル: スプーン、フォークなど
5	モデリング④: ポイントの操作・ベンド・ミラーリング: 動物など
6	モデリング⑤: オフセット・テクスチャの設定: 動物など
7	課題: オリジナルキャラクターの作成
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	↓
15	講評
16	

シラバス

科目名	クリエイティブデザインⅣ	必修/選択	必須
授業時数	30時間	担当教員	田島 亮
対象学年	2年前期	実務/一般	一般教員
形式	演習		
学修内容	ポスターや広告、CG表現など、ビジュアルを効果的に使用し、訴求力のあるデザインの制作を研究します。1年次の写真撮影の技術、知識、イラストレーションの技術なども踏まえ、主題に対しての社会的な返答を考える。		
到達目標	目的が何であるんかを適切に理解、分析をし、それにふさわしい表現法を選び、魅力的で、訴求力の高い資格伝達デザインを出力することが目的です。		
授業の方法	講義・レポート・プレゼンテーション・制作		
評価方法	レポートの内容・卒業進級制作展での作品発表・プレゼンテーションの内容		
授業時間外に必要な学修	なし		
使用教材教具	なし		
留意点	なし		

授業計画	
1	・学園祭に向けてのプランニング
2	・学園祭に向けてのプランニング
3	・学園祭に向けてのプランニング
4	・学園祭に向けてのプランニング
5	・グループワーク
6	・グループワーク
7	・グループワーク
8	・卒業制作拡張
9	・卒業制作拡張
10	・卒業制作拡張
11	・卒業制作拡張
12	・作品集整理 ・各自の研究をもとに作品制作
13	・作品集整理 ・各自の研究をもとに作品制作
14	・作品集整理 ・各自の研究をもとに作品制作
15	・作品集整理 ・各自の研究をもとに作品制作
16	

シラバス

科目名	卒業制作	必修/選択	必須
授業時数	30時間	担当教員	田島 亮
対象学年	2年前期	実務/一般	一般教員
形式	演習		
学修内容	総合演習 学生は本コースで習得した技術を踏まえ、課題テーマを設定し、作品制作の過程と作品を発表します。		
到達目標	制作・発表した作品が、技術・表現内容ともに本コースの履修内容を十分満たすものであるか。		
授業の方法	講義、作品制作、プレゼンテーション		
評価方法	制作・発表した作品が、技術・表現内容ともに本コースの履修内容を十分満たすものであるか。		
授業時間外に必要な学修	なし		
使用教材教具	各自の制作内容による		
留意点	なし		

授業計画	
1	○制作物企画立案 ・オリエンテーション ・ヒアリング
2	○制作物企画立案 ・オリエンテーション ・ヒアリング
3	○修正提案
4	○修正提案
5	○作品制作
6	○作品制作
7	○作品制作
8	○作品制作
9	○作品制作
10	○作品制作
11	○作品制作
12	○作品制作
13	○プレゼンテーション
14	・作品集整理 ・各自の研究をもとに作品制作
15	・作品集整理 ・各自の研究をもとに作品制作
16	